

ポリエステル 長繊維不織布

水稲育苗箱置床用遮断シート

#20307BKD・#20507BKD 巾180・210・235cm



育ちがちがう、専用ブラック誕生。

育苗箱の置床用に、たいへん便利なラブシートのブラックタイプ。黒不織布の機能が作業の省力化をはかるとともに根張りのすばらしい健苗を作ります。



特長

- 1. 設置床のPH調整が不要です。**
置床と育苗箱をラブシートブラックによって遮断するので、野菜を作ったハウスでも置床のPH調整をせずに水稲育苗が行えます。
- 2. 設置床の地温を上昇させます。**
育苗箱を設置する3～4日前にラブシートブラックを敷きますと、地温が上昇しますので、発芽ぞろいが良くなります。また、地下水の高い所でも、根ぐされの被害を最小限にとどめます。
- 3. 根が設置床に入りにくい。**
根が置床面に入りにくく、根切りの労力が省けます。
- 4. 省力で健苗が育ちます。**
育苗箱の移動が容易に行えて、根切りのすばらしいマット形成の良い均一な健苗に育ちます。

■置床被覆材による苗生育比較

置床被覆資材	葉令(葉)	苗長(cm)	乾物重(100個体地上部)(g)	充実度(mg/cm)
ラブシート(ブラック)	3.6	10.8	2.49	2.31
保温用マット	3.8	10.8	2.27	2.10
新聞紙(3枚)	3.8	13.0	2.60	2.00
目標値	3.5	14.0	2.50以上	1.70以上

充実度=地上部乾物重/苗長

■ラブシート(ブラック)の使用状況比較



使用の場合



未使用の場合

※注意点 1. 乾燥がちになるので、灌水を適度に行ってください。
2. 置床からの肥料吸収がないので、追肥が必要です。

ユニチカ ラブシート ブラック

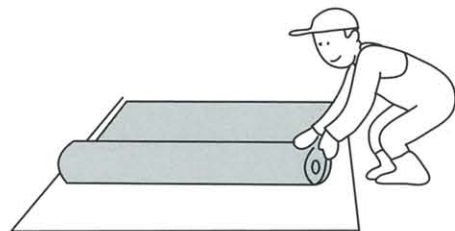
■ラブシートブラック(遮断方式)の使用方法



(1) 置床を整地する。



(2) 置床に十分水をかける。



(3) 置床の上にラブシートブラックを敷く。



(4) ラブシートブラックの上に充分水をかける。



(5) その上に育苗箱を設置する。

■注意点■

- 水管理
育苗期間中、後半1回0.5ℓ～0.6ℓとして、1日2回程度灌水。
乾燥に注意して下さい。
- 追肥
元肥窒素成分1gとして1～2回行って下さい。
(目安 1.5葉期1g、2.0葉期1g)

■ラブシートブラック(遮断方式)の利点

- (1)置床と育苗箱を遮断するので、置床のPH調整が不要(水稲PH 4.5～5.5野菜5.5以上)。ムレ苗が発生しにくくなります。
- (2)ハウス跡を有効的に利用できます。
- (3)育苗箱の位置交換が簡単なので、苗長が揃いやすくなります。
- (4)水のかけ過ぎの心配が少ないので、徒長苗が出来にくく、充実度(1個体乾物mg/苗長cm)が高くなります。
- (5)灌水回数を多くするため、酸素の供給が多く、育苗箱と置床の

- すき間に空気の層ができます。そのため、根が太くて白い苗に育ちます。
- (6)箱内育苗のため、マット形成が強くなります。
- (7)葉令が進みます。
- (8)育苗箱が簡単に置床からはがせます。
- (9)根切りをほとんどしないですむため、苗が長持ちします。
- (10)健全な苗ができやすく、移植後の活着が良くなります。

■水稲育苗置床に関する資材試験■

調査結果

調査日	ラブシート区		有孔ポリ区	
	苗長(cm)	葉令(枚)	苗長(cm)	葉令(枚)
4月23日	8.0	1.7	7.6	1.3
5月1日	10.5	2.5	12.3	2.5
5月8日	11.1	2.6	13.8	2.7
5月14日	13.8	3.4	14.4	3.1

- 1.試験場所 青森県十和田市大字洞内
- 2.育苗様式 畑ハウス育苗(中苗100g/箱 乾籾)
- 3.耕種概要
 - 播種月日:4月8日
 - 発芽状況:良好
 - 使用土壌:床土、覆土共にパールマット
 - 置床:PH6.4
- 4.試験資材
 - 有孔ポリ区
 - ラブシート(ブラック20307BKD)

(5月14日の苗調査)

(cm)	第1葉鞘高	第2葉鞘高	第3葉鞘高	第1葉身長	第2葉身長	第3葉身長	苗長	苗令	充実度
ラブシート区	2.9	4.6	6.8	2.0	5.5	6.9	13.8	3.4	2.1
有孔ポリ区	3.5	5.3	5.6	1.9	6.9	8.3	14.4	3.1	1.7
県目標	2.5	4.0	6.0	2.0	5.5	8.0	14.0	3.5	1.7以上